

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English B		
英文授業科目名	E n g l i s h B		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	電子工学科 システム工学科		
担当教官名	網代 敦（学内連絡教官）		
居室	大東文化大学		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>（（主題） ビジネスイングリッシュを題材として、リスニングの力を養うことと、また短い英字新聞の記事を読み、その内容について簡単な英語での質疑応答が出来るようになることが目的です。</p> <p>（達成目標）            (1)インタビューや電話による会話などの内容が、key wordsを把握することによって、最低70%は理解できるようにすること            (2) ビジネスイングリッシュにおける語彙を身につけること            (3)短い英字新聞の記事を読み、内容理解の質問に簡単な英語で答えることができるようになること            。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
Market Leader: Course Book Intermediate Business English (Longman) プリント使用

。
---

**【授業内容とその進め方】**

テキストのユニットの内容は、Globalisation / Brands / Travel / Advertising / Employment / Trade / Organizationなどとなっています。これらのトピックに関するインタビューや電話の応答の聞き取りを行い、その内容確認を様々な設問に従って行います。また、各ユニットに設けられた英字新聞の記事を読みながら、その内容に関する質疑応答を簡単な英語表現で口頭発表できることを目指します。また時事的な英語の語彙力を身に付けることも考慮に入れます。

初回の授業は、導入として発音のことについて触れることにします。また最終の授業時間に試験を行います。

**【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】**

評価方法：試験 70%

授業における理解度・積極性 30%

評価基準：最低達成基準は以下の項目です

- (1) key wordsを理解しながらの聞き取りが概ねできること
- (2) 自分の語彙力で簡単な自己表現ができること
- (3) 最低12回以上の出席をしていること

**【オフィスアワー：授業相談】**

必須項目。

火曜日、12時10分以降。ただし事前にアポイントメントを取ってください。

**【学生へのメッセージ】**

辞書を丁寧に引くこと。。

**【その他】**